



平成30年4月24日

# 管内経済情勢報告

平成30年4月

財務省福岡財務支局

〔問い合わせ先〕

財務省 福岡財務支局 経済調査課

TEL 092-411-9038

FAX 092-452-1318

## 1. 総論

### 【総括判断】「管内経済は、回復している」

項目	前回 (30年1月判断)	今回 (30年4月判断)	前回比較
総括判断	回復しつつある	回復している	

(注) 30年4月判断は、前回1月判断以降、4月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

#### (判断の要点)

個人消費は、百貨店・スーパー販売額のほか、コンビニエンスストア販売額、ドラッグストア販売額が前年を上回るなど、回復している。生産活動は、自動車で新型車投入効果がみられ、海外向けを中心に引き続き好調に推移するなど、緩やかに回復している。雇用情勢は、有効求人倍率が引き続き高水準で推移するなど、改善している。

#### 【各項目の判断】

項目	前回 (30年1月判断)	今回 (30年4月判断)	前回比較
----	--------------	--------------	------

個人消費	緩やかに回復している	回復している	
生産活動	回復しつつある	緩やかに回復している	
雇用情勢	改善している	改善している	

設備投資	29年度は増加見込み	29年度は増加見込み	
企業収益	29年度は増益見込み	29年度は増益見込み	
住宅建設	前年を上回っている	前年を下回っている	
公共事業	前年度を下回っている	前年度を下回っている	
輸出	前年を上回っている	前年を下回っている	

#### 【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、回復が続くことが期待される。ただし、海外経済の不確実性などに留意する必要がある。

## 2. 各論

### ■ 個人消費 「回復している」

百貨店・スーパー販売額は、スーパーでは、青果や精肉等に動きがみられたほか、百貨店では高額品や化粧品が好調なことなどから、全体では前年を上回っている。コンビニエンスストア販売額は、新規出店効果に加え、店内調理の食料品が好調なことなどから、前年を上回っている。乗用車販売は、全体では前年を下回っているなか、新型車が好調であることなどから、軽自動車も前年を上回っている。ドラッグストア販売額は、新規出店効果に加え、飲食料品等を中心に好調なことなどから、前年を上回っている。家電販売額は、エアコンや機能性の高い白物家電に動きがみられたことなどから、前年を上回っている。ホームセンター販売額は、足下では園芸用品等に動きがみられるものの、日用品等の動きが鈍く、前年を下回っている。旅行取扱高は、国内旅行は前年を下回っており、海外旅行は前年を上回っている。このように、個人消費は回復している。

(主なヒアリング結果)

- 鮮魚は漁捕量の減少から陳列数が減少し価格も割高となっているが、一方、精肉は鮮魚と比較すると安価であり、精肉需要の高まりから好調となっている。(スーパー、中小企業)
- 新規出店を継続しているほか、レジ横のファーストフード商品、弁当、総菜等が好調である。(コンビニエンスストア、大企業)
- 新規出店を継続しており、飲食料品や日用品を中心に好調なほか、足下では鼻炎薬やマスクなど季節商品に動きがみられている。(ドラッグストア、大企業)
- エアコンが好調なほか、家電エコポイント導入時に購入した分の買い替え需要もあり、単価の高い高付加価値の白物家電に動きがみられる。(家電販売店、大企業)

### ■ 生産活動 「緩やかに回復している」

輸送用機械の自動車は、新型車投入効果がみられ、海外向けを中心に引き続き好調に推移するなど、緩やかに回復している。鉄鋼は、国内外向けの自動車用鋼材や海外向けの軌条が好調なことなどから、高い操業を維持している。電子部品・デバイスは、車載向けを中心に引き続き好調に推移している。造船は、一部で幾分操業を落としているものの、全体としては高めの操業を維持している。このように、生産活動は緩やかに回復している。

- 新型車投入効果により好調な動きとなっており、工場はフル操業の状態となっている。(自動車メーカー、大企業)
- 海外向けの軌条の生産が好調に推移しているほか、自動車向け鋼材の生産は、国内メーカー向けが好調であることに加え、海外向けの受注が好調であることなどから、工場は高操業の状態となっている。(鉄鋼、大企業)
- ハイブリッド車の電子機器制御などに使用される製品の需要が高く、引き続き好調に推移している。(情報通信機械器具、中堅企業)

### ■ 雇用情勢 「改善している」

有効求人倍率は引き続き高水準で推移している。新規求人数は、卸売業・小売業、医療・福祉業等で増加している。新規求職者数は引き続き前年を下回っている。このように、雇用情勢は改善している。  
(参考) 福岡県の賃金の動き

現金給与総額は前年を上回っている。

- 新規出店に加え、既存店でも人手が不足していることから、常に募集しているが状況は芳しくない。店舗間の応援などで対応している。(小売、大企業)
- 離職率が高いことから、採用にかかる負担が大きい。介護の有資格者以外にも採用枠を広げているが、夜勤可能など、我々のニーズにあった人材は少ない。(医療・福祉、中堅企業)
- 新規求人は、小売店等の新規開店が続くなか、勤務時間の短縮や業務の細分化などで、複数の人員を採用する形態の募集が増えている。こうしたことから、有効求人倍率は引き続き高水準が続く見込み。(労働局)

■ **設備投資** 「29年度は増加見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」30年1-3月期

- 製造業では、その他製造業等で減少見込みとなっているものの、自動車・同附属品、鉄鋼業等で増加見込みとなっており、全体では増加見込みとなっている。
- 非製造業では、金融、保険等で減少見込みとなっているものの、運輸、郵便、小売等で増加見込みとなっており、全体では増加見込みとなっている。

- 新たに生産予定の新型車に関する設備投資を実施。(自動車・同附属品、大企業)
- 新型車両の導入等の安全投資のほか、商業ビル開発などの不動産関連投資を計画。(運輸、大企業)

■ **企業収益** 「29年度は増益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」30年1-3月期

- 製造業では、自動車・同附属品等で減益見込みとなっているものの、窯業・土石製品、情報通信機械器具等で増益見込みとなっていることから、全体では増益見込みとなっている。
- 非製造業では、情報通信等で減益見込みとなっているものの、小売、運輸、郵便等で増益見込みとなっていることから、全体では増益見込みとなっている。

■ **住宅建設** 「前年を下回っている」

- 新設住宅着工戸数で見ると、貸家や持家の減少などから前年を下回っている。

■ **公共事業** 「前年度を下回っている」

- 公共工事前払金保証請負金額(29年度累計)で見ると、独立行政法人等、国で増加しているものの、県、市町村などで減少していることから、前年度を下回っている。

■ **輸出** 「前年を下回っている」

- 輸出(円ベース)は、輸送用機器、電気機器を中心に減少していることから、前年を下回っている。  
なお、輸入(円ベース)は、前年を上回っている。

(その他項目)

- 企業の景況感を法人企業景気予測調査(30年1-3月期)の景況判断BSIで見ると、30年1-3月期は、「均衡」となっている。先行きについては、30年4-6月期に、「上昇」超に転じる見通しとなっている。
- 企業倒産の件数は、前年を上回っている。
- 消費者物価(福岡市)は、前年を上回っている。
- 貸出金残高は、前年を上回っている。

3. 管内各県の総括判断

	前回(30年1月判断)	今回(30年4月判断)	前回比較	総括判断の要点
福岡県	回復しつつある	回復している		個人消費は回復しているほか、生産活動は緩やかに回復しており、雇用情勢は改善している。
佐賀県	持ち直している	緩やかに回復しつつある		個人消費は持ち直しているほか、生産活動は持ち直しており、雇用情勢は改善している。
長崎県	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している		個人消費は持ち直しつつあるほか、生産活動は緩やかに持ち直しており、雇用情勢は改善しつつある。